

会 議 録

会議の名称	和泉市生活排水対策推進協議会【令和6年度（第1回）】
開催日時	令和7年2月27日 10時00分～10時30分
開催場所	和泉市役所5A会議室
出席者	委員 藤森会長、園田副会長、前田委員、大田委員、竹元委員、中野委員（以上6名 順不同） 生活排水対策関係課（室） 職員8名（お客さまサービス課・下水道整備課・土木維持管理室・都市整備室・産業振興室）
事務局	環境政策室
会議の議題	（1）副会長の選出について （2）河川水質の現状について （3）令和5年度・令和6年度事業実績について （4）その他
会議の要旨	（1）副会長の選出について 副会長には、和泉市町会連合会会長の園田委員が選任された （2）河川水質の現状について 【事務局説明の概要】 「BODに係る環境基準達成状況」については、令和6年度は全調査地点において、基準値をクリアしていた （3）令和5年度・令和6年度事業実績について 【事務局説明の概要】 事業計画に基づき、本市において令和5年度・令和6年度に実施した生活排水対策事業実績について報告（令和6年度は令和6年12月末時点） （4）その他 【事務局説明の概要】 第2次和泉市生活排水対策推進計画については目標年度が令和7年度であるため、令和7年度中に改定を行う必要がある。一方で、「一般廃棄物処理基本計画」のなかにも、生活排水対策に関する部分があり、こちらの改訂時期も令和7年度となっている。内容も概ね重複することから、一本化も視野に入れて改訂作業を行う。その改訂案については、本協議会か環境審議会、もしくは、ごみ減量等推進審議会のいずれにお諮りするかを今後整理して、本協議会の藤森会長と相談させていただきながら進めていく。
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
その他の必須事項	会議の形式：公開 傍聴人：0人 議事録の公開：有

主な内容	【質疑応答】 (2) 河川水質の現状について 《委員》 ○令和5年のBOD数値が例年度に比べて若干下がっているのは、何か要因がありますか。 《事務局》 ○河川水質の汚染原因については、生活排水が主な原因となっており、生活排水によってBODの数値が上がるのですが、年4回または5回行う採水時の河川の水量により（雨量によるもの）BODの数値が低くなることがあります。BOD数値の傾向は、経年経過をみると、減少傾向にあります。 《委員》 ○父鬼川の浄水場取水口が一番上流であるにもかかわらず、その数値が高いってというのは何か理由がありますか？ 《事務局》 ○9回の採水のうち1回が基準値を超えているということで、それに引っ張られて数値が高くなっている可能性はありますが、明確な理由はわかりません。 《委員》 ○榎尾川の類型がBになっていますが、ここ最近は基準値Aぐらいの値になっておりまして、この類型は変更されることがあるのでしょうか？変化される場合、どこが主導して変更するのですか？ 《事務局》 ○榎尾川の河川管理者は大阪府なので、基準値は大阪府が決めています。 (3) 令和5年度・令和6年度事業実績について (令和6年度は令和6年12月末時点) 《委員》 ○下水道の普及率は90%ということですが、長期的には何%ぐらいを目指しているのでしょうか。 《下水道整備課》 ○下水道の普及率ですが、最大で99.6%までいく見込みです。残りの0.4%につきましては合併浄化槽での処理となる見込みです。 《委員》 ○下水道管は、長いところで使用してから30年ぐらいになるかなと思いますが、耐用年数はどのぐらいですか。 《下水道整備課》 ○下水道管の標準耐用年数としましては50年となっております。
-------------	---

《委員》

○水質現況調査について、いきいきプランの5ページをみますと、窒素とかリンとか、界面活性剤など測っておられて感心しています。冊子をみると、市街地水路等が10か所で、年1回ずつ測定しているように見受けられますが、年1回の測定だと平均は出てこないかと思います。そのときは年何回か測られたのですか。

《事務局》

○年1回測定している10か所の平均値を記載しております。

《委員》

○近年、PFASが大変問題になっておりますが、農業用水に使っておられる水もあるので、市民としては気になっております。測定などしていますか？

《事務局》

○PFASについては、国も注視しているところではありますが、現段階では環境基準ではなく暫定目標値という扱いになっております。今後、環境基準にまで引き上げられた際には、公共河川の測定等について検討していきます。